

兵庫県水産技術センターだより

赤潮情報 AK-02-06 号 (播磨灘北部)

令和2年7月13日発行

7月13日に赤潮プランクトン調査(播磨灘北部：定期調査及び臨時調査)を実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・播磨灘北部海域の緑がかった着色は、主に小型珪藻類(スケルトネマ等)によるものです。
- ・魚類を斃死させる有害赤潮プランクトン(シャットネラ・アンティカ、マリーナ、オバータ)がわずかに確認されました。
- ・赤潮の発生しやすい時期をむかえますので、海域の着色状態にご注意願います。



注意が必要な赤潮プランクトンの密度

シャットネラ・アンティカおよびマリーナの合計値	
注意体制： 10細胞/ml	警戒体制： 100細胞/ml
カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	
注意体制： 500細胞/ml	警戒体制： 5,000細胞/ml
ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	
注意体制： 50細胞/ml	警戒体制： 500細胞/ml

赤潮プランクトン調査結果(海水1ミリットルあたりの細胞数)

調査地点	水深(m)	ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	シャットネラ・アンティカおよびマリーナ	シャットネラ・オバータ	シャットネラ・グロブサ	シャットネラ・ベレキュロサ	コクロディウム・ポリクリコイテス	ヘテロシガ・アガオ
H2	0	0	0	0.7	0	31.3	0	0	0
	5	0	0	0.7	0.7	80.0	0	0	0
	10	0	0	0	0	27.3	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
H28	0	0	0	0	0	55.3	0	0	0
	5	0	0	0	0	76.0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	15.3	0	0	0
H30	0	0	0	0	0	19.3	0	0	0
	5	0	0	0	0	32.0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0.7	0	0	0
H31	0	0	0	0	0	18.0	0	0	0
	5	0	0	0	0	29.3	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	3.3	0	0	0
Bz1	0	0	0	2.0	0.7	40.0	0	0	0
	5	0	0	0.7	0.7	25.3	0	0	0
	10	0	0	0	0	7.3	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
Bz2	0	0	0	0	0	52.7	0	0	0
	5	0	0	0	0	18.7	0	0	0
	10	0	0	0	0	2.7	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
臨時1 (西島北側・湾奥)	0	0	0	0.7	0	38.0	0	0	0
	5	0	0	0.7	0	16.0	0	0	0
臨時2 (西島北側・湾口)	0	0	0	0	0	38.0	0	0	0
	5	0	0	0	0	22.0	0	0	0

【今後の調査予定】 次回は7月20日に定期調査(播磨灘北部)を予定しています。調査結果がまとまり次第、「赤潮情報AK-02-07号」として発行予定です。

お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター (担当：水産環境部 宮原、中桐)
Tel : 078-941-8602 Fax : 078-941-8604 Homepage : <http://www.hyogo-suigi.jp/>